



AUE News

2012年3月1日

第 35 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500



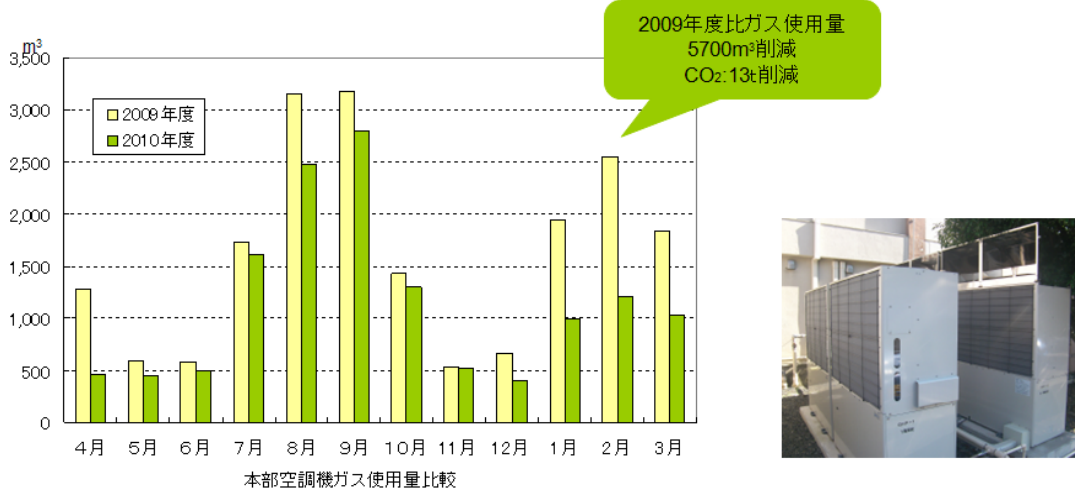
目次

- 省エネニュース@愛教大
- 行事予定(3月1日-15日)
- トピックス
 - ・附属名古屋中学校合唱祭
 - ・職員研修会
 - ・いろいろな手織物展
 - ・共同教科開発学専攻の入試
 - ・ユネスコスクール・AUE・キックオフシンポジウム
- ・卒展
- ・個別学力検査等前期日程
- ・イラスト周期表を利用した理科授業
- ・招へい研究者による講演会
- ・介護トーク昼食会
- お知らせ・報告・投稿
 - ・インドネシア協定校と交流
 - ・リポジトリ正式公開 3周年記念インタビューを実施
 - ・催しもの案内

省エネニュース@愛教大

2011年度愛知教育大学緊急節電対策の啓発活動として、「AUE News」で省エネに関するニュースをお知らせします。今回はNo.17(作成は「省エネワーキンググループ」)です。冬の省エネのポイントを紹介しします。皆さん、引き続き、節電にご協力ください。

NO17 空調設備更新でCO2削減成功!



●空調設備を更新する場合の「省エネ」ポイント

- ①空調機の更新と同時に利用基準を設けることで、大幅なCO₂削減に成功した！
 - 「更新機器は、高効率機種を採用する」
 - 「スケジュールタイマーを取付ける」
 - 「空調使用についての基準を設ける」



行事予定(3/1-15)

- 5日(月) 教員人事委員会 (10:00～ 第三会議室)
代議員会 (13:30～ 第一会議室)
愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会 (15:00～ 第五会議室)
- 6日(火) 役員部局長会 (13:00～ 学長室)
評価委員会 (役員部局長会修了後、学長室)
- 7日(水) 教務企画委員会 (13:30～ 第二会議室)
学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)
大学改革推進委員会 (15:30～ 第三会議室)
- 9日(金) 学生寮新棟竣工式 (10:00～ 学生寮管理棟ホール、F棟)
- 13日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 14日(水) 代議員会 (13:30～ 第五会議室)
教育研究評議会 (代議員会修了後、第五会議室)

トピックス

附属名古屋中学校合唱祭(2/15)



2月15日(水)、愛知県芸術劇場コンサートホールで附属名古屋中学校の恒例行事「合唱祭」が開催されました。今年のテーマは「CORE PRIDE」(コア プライド)です。この言葉には「附中生が最も誇りに思えることは合唱だ。今までの練習の成果、自分たちの努力に誇りを持ち、精一杯歌おう」という思いが込められています。当日は、1年生から3年生までの15クラスが、それぞれのクラスごとに1年間かけて創り上げてきた合唱活動の成果を発表しました。

合唱祭は2部構成で、第1部では1年生、2年生の各クラスが課題曲と自由曲を、3年生の各クラスが自由曲を合唱しました。その後、3年生選択音楽の合唱がありました。第2部は3年生の「思い出の合唱」でした。どの学年、クラスも心をつなげて、自分たちの思いを歌声にのせて、会場に響かせました。胸を張り、自信をもって歌うプライドあふれる姿からは、附属名古屋中学校を愛し、仲間を大切に思う気持ちが強く感じられ、聴く人の心を強く動かしました。



(附属名古屋中学校長 稲毛正彦)

職員研修会(2/17)

2月17日(金)、慶應義塾大学信濃町キャンパス事務長(元東京大学理事)の上杉道世氏を迎えて職員研修会を開催しました。

同研修会は、SD研修の一環として行われ、役員や事務職員46人が参加しました。

上杉氏は、「これからの大学経営と大学職員」という演題で、東京大学における事務職員の人事・組織・業務等のさまざまな改革実践を披露し、「トップの方針(中長期目標)を明示し、全員参加による自律的な業務改善(トータルプランの実施)が大切である」ことを強調されました。

講義終了後の質疑応答では、若手職員が何人も手を挙げて、国立大学の無駄な面を問うなど、積極的に上



杉氏に質問し、有意義な研修会となりました。

本学では、今後もこのようなSD活動を積極的に展開し、職員の能力の向上に取り組んでいく予定です。
(人事課副課長 丸山祥弘)

いろいろな手織物展(2/18-26)

造形文化コース染織研究室の教員と学生の作品を紹介する「いろいろな手織物展」が2月18日(土)～26日(日)、刈谷駅前商店街「スペース Aqua」で開催された。

同展は同商店街と本学が地域連携の一環として実施している共同事業「Uno セレクション」の第10弾。今回は大山エリナ准教授と染織研究室の学生の作品約70点展示した。

1階は大山准教授の作品。これまで国内外の出版物などで発表している染織の作品36点を著作と共に公開。さまざまな手法を駆使した手作りの温かさ



を感じさせながら、北欧デザインのセンスが光る作品はフィンランド出身で20年余りの在日経験がある大山准教授ならではの。訪れた人々が熱心に見入っていた。2階では1年～大学院生の学生作品35点を展示。羊毛をはじめ、綿や麻などの素材を平織り、綾織り、畝織りなど多彩な手法で織り上げた、毛布やマット、ストールやタペストリーなどとともに、同研究室での研究についての発表も。



19日(日)には、小学生を対象にしたワークショップ「羊毛でストラップをつくろう!」を午前と午後の各1回実施し、30人が参加。同研究室の学生が講師となって、羊毛をせっけん液で丸めたフェルトボールを作り、針と糸でつなぐストラップ作りに挑戦。約1時間半で完成させ、「かわいい」と、どの顔も満足そうだった。



共同教科開発学専攻(後期3年博士課程)の入試(2/19)

4月から新たに開設される本学と静岡大学との共同教育課程による共同教科開発学専攻(後期3年博士課程)の入学者選抜試験を、2月19日(日)に静岡大学教育学部を試験会場として、共同で実施した。入学定員は8人(各大学4人)であり、事前の出願者は、42人(愛知教育大学の教員を主指導教員として第一希望にしている者17人、同静岡大学25人)であったが、うち2人が当日欠席し、受験者は40人(愛教大15人、静大25人)となった。試験の日程は、9:30～10:30で外国語(英語)筆記試験、11:00～12:30で小論文試験、13:30～16:00で口述試験が行われ、これらの結果を総合して、その後に開催された両大学による連絡協議会において、10人(愛教大4人、静大6人)の合格者を決定し、合格発表を2月22日午前10時に実施した。

本共同専攻は、教科学と教育環境学について高度・専門的研究を行い、教科開発学の分野において自立して研究・実践でき、広く教育界に貢献し、大学教員を志向する人材を求めており、合格者には今後の活躍が期待されている。
(学生支援部長 山本良夫)

ユネスコスクール・AUE・キックオフシンポジウム(2/22)

本学は今年1月に、ユネスコスクールの活動を支援するためのユネスコスクール支援大学間ネ



ットワーク (ASPUivNet) に加盟した。これに伴い、主に愛知県内の小・中・高等学校のユネスコスクール加盟について、学内の支援組織を立ち上げるため、「ユネスコスクール・AUE・キックオフシンポジウム」を2月22日(水)午後、大会館2階中集会議室で開催した。

最初に、本学の松田正久学長から「2014年に愛知県・名古屋市においてESDに関わる国連の国際会議が開催されるにあたり、愛知学長懇談会としても積極的に支援することとしており、本学も教員養成大学として『持続発展教育』に愛知県及び名古屋市教育委員会とも連携・協力して貢献していきたい」とあいさつ。

引き続き、基調講演としてESDに長年関わり、北陸地区のユネスコスクールの推進者でもある、金沢大学環境保全センターの鈴木克徳先生から、「持続発展教育 (ESD) とは」「ユネスコスクールを通じたESDの推進」「ユネスコスクール支援大学間ネットワークに期待される役割」の3点を中心に、先生の地元金沢における取り組み事例を紹介しながら、分かりやすく話していただいた。



その後、愛知県教育委員会総務課の島田貴宏氏から、愛知県・名古屋市で2014年の国際会議について経緯が説明され、併せて「国連ESDの10年」最終年会合に向けた取り組みと現状の報告がなされた。



また、愛知県総合教育センターの楢田敏宏先生からは、県内のユネスコスクール加盟の現状及び進捗状況などが報告され、「つながり」「協働」を大切に、ユネスコスクール加盟の支援だけでなく、ESDの実践的な取組についても大学として支援いただきたいとの本学への要望が出された。



最後に、宮川秀俊国際交流センター長が、4人のシンポジストへのお礼の言葉と「今後、愛知県・名古屋市各教育委員会及び県総合教育センターとも連携しながら、ユネスコスクールへの支援に取り組んでいきたい」と述べ、会を終了した。(教育創造開発機構運営課課長 稲吉隆)

卒展 (2/22-26)

美術選修専攻・造形文化コース・大学院美術専攻の2011年度卒業・修了制作展が2月22日(水)～26日(日)、刈谷市美術館で開催された。

会場には、絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、陶芸、染織、プロダクトデザイン、金工、ガラスの各研究室で制作した実技作品や、美術教育の教材研究の成果のパネル発表など、計68人の学部や修士課程での学びの集大成を展示。教員養成系大学ならではの内容に、来場者も興味深そうに一つ一つ丁寧に展示を見て回っていた。



学部の飯田夏代さんの木彫作品「記憶の中にあるもの」は、クスを素材にした親子の像。「家族が卒展を見に来てくれることが分かっていたので、子供のころに遊んでくれた思い出を作品に。2カ月半かかりましたが、ここまで育ててくれたことに感謝を込めました」。修士課程の浅野皆子さんは工作教材「廻りネズミ」などなど16点1組を発表。「論文とリンクさせ、実際に日進市などの工作教室をやりました。東海地区の郷土玩具を生かした提案ができました」と、それぞれの成果に満足そうだった。





同展は昨年までは名古屋市内在が会場だったが、地元と本学の連携を強めたいとの長年の思いから、今年からは刈谷市と刈谷市美術館の全面協力を得ての地元開催が実現。今後も刈谷市内での開催となる予定。



個別学力検査等前期日程（2/25, 26）

2012 年度入学の個別学力検査等前期日程が 2 月 25 日（土）26 日（日）の 2 日間にわたって実施され、両日で 1534 人が受験した。

25 日は第一共通棟を会場に、学科試験。午前 8 時ごろには制服姿の受験生が続々と訪れ、入り口で受験票を職員に見せながら会場入りし、試験に挑んだ。26 日には体育や音楽、美術などの実技試験も実施された。

25 日の試験問題に出題ミスが発見され、対象の 3 問のうち 2 問について、全員正解の措置がとられたが、そのほかは特に混乱や事故がなく終了。合格発表は 3 月 8 日午後 1 時から講堂で行われる。



イラスト周期表を利用した理科授業(2/27)

豊明市立沓掛中学校で、2 月 27 日（月）、本学の科学・ものづくり教育推進センターで開催されたイラスト周期表とイラスト周期表下敷きを利用した理科の授業が実施されました。周期表が登場する中学校の高学年で、理科が嫌いになる生徒が増えることが以前から指摘されています。イラスト周期表下敷きには、理科離れを防ぎたいという願いが込められています。



授業では、放射線に関する DVD を視聴した後、放射線と元素の関係がイラスト周期表下敷きを利用して紹介されました。次に、元素名の語源に関するクイズ大会が開催され、生徒たちはイラスト周期表下敷きを使って、回答を調べていました。最後に、日本の理化学研究所に命名権が与えられる期待が寄せられている 113 番元素について、説明が行われました。

レアメタルやレアアースの資源問題、福島原発事故など、元素に関する関心が社会的に高まっています。イラスト周期表下敷きが教育現場で活用され、子どもたちの科学に対する興味を刺激してくれることを願っています。（科学・ものづくり教育推進センター研究員 佐々田俊夫）

招へい研究者による第 4 回講演会(2/27)

2 月 27 日（月）、韓国の協定校である光州教育大学の Park Youn Ho 教授、晋州教育大学の Kang Hong Jae 准教授を講師に迎え、招へい研究者による第 4 回講演会が開催された。

Park 先生、Kang 先生とともに、今年度から本学が開始した「海外協定校からの教職員招へいプログラム」の招へい研究者として来日、本学の共同研究者の協力のもと約 3 カ月にわたり本学で研究活動に従事した。

教職員と学生約 30 人の聴衆を前に松田学長があいさつ。グローバル化の進む現代における異文化理解とそれに伴う自文化理解の重要性に言及し、このような研究発表の場を通じて国際的感覚を備えた人材を育成していきたいと述べられた。

最初に講演を行ったのは Park 先生。今年度本学と協定を締結した光州教育大学校の概要や、自身の研究課題である韓国の教育史、特に韓国の教育の制度的発展について日本で人気の韓国ドラマの話題にも触れながら解説した。



続く Kang 先生の発表内容は、現代の韓国における SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に焦点を当てたもの。学生の理科離れを危惧し、現在、国を挙げて実施されている理系指向の人材育成について、詳細な数的データを基に現状が紹介された。また、本学と長年交流を続けている晋州教育大学校の大学紹介が行われると、同大学へ留学経験のある参加学生は懐かしそうに耳を傾けていた。

どちらの講演も、非常に流暢な日本語による、身近な国・韓国の教育をテーマにしたものだけに、熱心にメモをとりながら解説に聞き入る参加者も多く見受けられた。

第 5 回講演会は、中国・南京師範大学の招へい研究者と職員を講師に迎え、4 月に開催予定。

(教育創造開発機構運営課 国際交流センター 宮内 春菜)

介護トーク昼食会(2/28)

介護について気軽に話し合う場をと、「介護トーク昼食会」が 2 月 28 日(火) 昼休み時間に、本部棟第五会議室で開催された。

次世代育成支援ワーキンググループが主催して年に一度行われている意見交換会で、この日は 17 人の教職員が参加。



今回は「遠距離介護」をテーマに、教育研究支援部の三宅育夫部長が自らの体験談を語った。10 年前の単身赴任中に、独り暮らしだった母親を、5 年半にわたって介護。毎週末に高速道路を乗り継ぎ片道 2 時間半をかけて実家に通い、1 週間分の献立をたてて買い物し、手間のかからない調理法のメモを張り出し、毎日決まった時刻に電話をするなど、「家族で何ができるか」を考えた時、当時を振り返った。耳が遠くても聞きやすい骨伝導の電話機に変えたり、床をフラットにしたり手すりを取り付けるなどの改造、近所の人たちに見守ってもらうためのコミュニケーションの大切さなどについても語り、「当時は介護という意識がなかった。ただ生活を何とか助けたいとの一心で、苦労とは思わなかった」という言葉に参加者から、「温かい気持ちになった。介護を前向きにとらえるトークを今後も続けてもらえば」などと感想が述べられて、和やかな雰囲気約 1 時間の会が終了した。



お知らせ・報告・投稿

インドネシア協定校との交流(報告)

私たち 6 年一貫コースの学生は 1 月 10 日(火) から 17 日(火) にかけてインドネシア研修に行った。インドネシアで現地の大学生や小学生と交流することで、人々の温かさ、優しさにふれ

ながら、インドネシアの教育制度や文化についてとても有意義に学ぶことができた。

2月13日（月）から19日（日）にかけてインドネシアのスラバヤ大学とジョグジャカルタ大学の学生が日本に研修のためやって来た。15日（水）には愛知教育大学大学会館の中会議室にてインドネシアの学生の歓迎セレモニーを行った。来日した学生や先生の中には私たちがインドネシアを訪れた際にお世話になった方々もあり、およそ1カ月ぶりの再会に心を踊らせた。

歓迎セレモニーでは松田正久学長が歓迎のあいさつ。流暢な英語でインドネシアの学生や先生方を歓迎し、本学とスラバヤ、ジョグジャカルタ両大学との交流の今後の更なる発展を願うと述べた。

セレモニーではインドネシアの学生によるオリエンテーションが行われ、スラバヤ大学生は伝統的な染物であるバティックの頭巾を実際に頭に巻いて登場し、インドネシアの文化を紹介した。バティックの巻き方には地域性が見られ、スラバヤでの巻き方、バリでの巻き方など様々な方法を紹介した。

ジョグジャカルタの学生は伝統的な真っ赤な衣装に身を包み、伝統舞踊を披露した。本格的に舞踊を専攻していないとしていた彼女たちだったが、披露するために一生懸命練習し、見事な幻想的な舞を披露してくれた。



今回の歓迎セレモニーはインドネシアの学生を受け入れ、互いの国の文化交流を行うだけでなく、互いに敬意をもち、認め合いながら心の交流をすることができた。スラバヤ、ジョグジャカルタ両大学と本学の交流はまだ始まったばかりである。今回の歓迎セレモニーを機会にさらに親交が深まればと思う。

(6年一貫コース5期生 初等社会選修4年 長嶺知慶)

リポジトリ正式公開3周年記念インタビューを実施(報告)

1月5日（木）に、本学の学術情報リポジトリが3周年を迎えました。附属図書館ではこれを記念して、同月25日（水）に本学の附属図書館長である岩崎公弥理事にインタビューを実施しました。



インタビューでは、まず自身の研究分野である「地理学とは何か」について解説いただき、そして長年研究してきた「日本の近世の綿作」、取り組み始めた「地誌叙述」について分かりやすくお話いただきました。仮説どおりにデータが揃わないことや結論に達しないことがある、といった研究上での苦労話のエピソードもご披露いただき、地理学の研究の一端を垣間見る興味深いお話を聴くことができました。

インタビュー内容はリポジトリトップページよりリンクして、次のURLで一般に公開しています。ぜひご一読ください。

正式公開3周年記念インタビュー

<http://repository.aichi-edu.ac.jp/interview/6th/3rdAnniversary.html>

(教育研究支援部 情報図書館課 図書グループ 古田紀子)

催しもの案内

◆第4回愛教大アカデミックカフェ

3月1日（木）17:15～19:15 入場無料、参加自由

テーマ：2011年度ノーベル物理学賞・化学賞を解説する！

講師：（化学賞について）住野豊助教 「パターン・模様の物理学」
（物理学賞について）伊東正人准教授 「宇宙を操るダークエネルギーの謎」
対象：教職員、学生、一般
カフェタイム 17：15～、講演（化学）17：30～、休憩 18：15～、講演（物理）
18：30～。
問い合わせ：秘書広報課 広報室 TEL 0566-26-2738

◆中学校理科実験プレ教員セミナー

3月2日（金）～12日（月）13：30～15：30

自然科学棟

中学校教員として知っておかなければならない実験や観察を中心に実施。

2日「地学実験講座A：望遠鏡の使い方と昼間の金星の探し方」6日「地学実験講座B：地震と防災教育」7日「化学実験講座：水溶液の電気分解」8日「物理実験講座：物理実験アラカルト（放射線測定、真空放電、電流と磁場）」9日「生物実験講座：DNAの抽出」12日「物理実験講座B：巨大電磁石で磁場を触る+霧箱で放射線を見る」

問い合わせ：理科教育講座 岩山勉 tiwayama@aeuacc.aichi-edu.ac.jp

◆教科開発学研究会

3月4日（日）10：00～

本部棟第一会議室、第五会議室

教育発表（10：00～12：05）、シンポジウム（13：30～16：00）「教科実践の新たな地平を拓く」。司会：子安潤（本学教授）新保淳（静岡大学教授）演者：樋口聡氏（広島大学大学院教授）三宅なほみ氏（東京大学大学院教授）

◆FD「学生参加型授業の取り組み例と課題について」

3月9日（金）13：30～15：30

本部棟第五会議室

対象：教職員、学生

今年度実施した学生参加型授業の事例報告し、情報交換、課題や工夫の共有化、改善策の検討などを目的に実施。

問い合わせ：教務課 樋口 TEL：内線2162

◆愛知教育大学吹奏楽団 第55回定期演奏会

3月10日（土）17：00会場、17：30開演

安城市民会館サルビアホール 入場料：前売り300円、当日400円

曲目：3部構成。バレエ組曲「火の鳥」/I. ストラヴィンスキー、「A WEEKEND IN NEW YORK」、企画ステージほか

問い合わせ：宇佐見恵未 TEL 090-7600-8564

ホームページ <http://www.amy.hi-ho.ne.jp/twada/auewind>

◆愛知教育大学劇団把^o夢（ぱむ） 第101回卒業公演

3月10日（土）14：00～/18：00

3月11日（日）11：00～/15：00～

七ツ寺共同スタジオ（名古屋市中区大須2）

演目：「きみがいた時間 ぼくがいく時間」（作：成井豊、演出：椎葉星亜）

チケット：予約・前売り800円、当日1000円

問い合わせ：ホームページ <http://www.geocities.jp/gekidanpamu/>

E-mail:pamu_2012_3@yahoo.co.jp

◆愛知教育大学天文台 第70回一般公開

3月10日(土) 16:30~19:30 入場無料、申込不要、雨でも講座・3Dは実施
自然科学棟5階地学538教室、天文台

16:30~17:00 金星観測会、17:00~ミニ天文講座「私の卒業研究から」、18:00~観望会「金星と木星の観望会」、「3D宇宙の旅」映像会

問い合わせ: 理科教育講座天文研究室 TEL 0566-26-2624

ホームページ <http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp>

◆火星隕石観察会

3月10日(土) 15:30~16:30 入場無料、申込不要、雨天も開催
自然科学棟501教室

2種類の火星隕石を観察する。研究者による解説も。

問い合わせ: 科学・ものづくり教育推進センター 佐々田

TEL 0566-26-2627

◆愛知教育大学管弦楽団 第76回定期演奏会

3月11日(日) 17:45開場、18:30開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

曲目: チャイコフスキー/バレエ「くるみ割り人形」より第2幕、ドビュッシー/小組曲、シューマン/マンフレッド序曲

問い合わせ: 団長 竜野 TEL 090-3441-3981

E-mail: aue_orchestra@ezweb.ne.jp

◆愛知教育大学音楽科 卒業・修了演奏会

3月15日(木) 16:00開場、16:30開演 入場無料

ザ・コンサートホール(名古屋・伏見)

問い合わせ: 音楽教育講座 TEL 0566-26-2415

編集後記



学内の梅がやっと咲き始めました。今年の寒さは格別でしたが、それでも春は確実に近づいて来ます。まもなく東日本大震災から1年。日本にとって過去に例のない辛く哀しい出来事が多かった1年。キャンパスを巣立っていく卒業生、修了生の皆さんにはそんなこの1年を胸に刻んで、困難に見舞われても一つ一つ乗り越えて、社会でたくましく活躍してほしいと、梅の花を見ながら願いました。冬の後には、春は必ずやって来るのですから。(K)

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール: kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者: 総務担当理事 折出 健二